

表面被覆工法

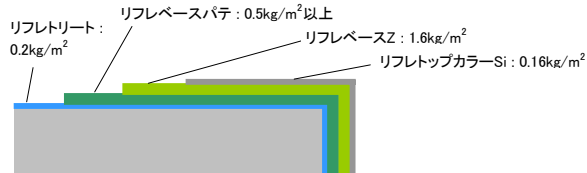
(無機系・有機系表面被覆工法)

表面被覆工法は、劣化因子の浸入やコンクリートの剥落を抑制・防止効果を有する被覆をコンクリート表面に形成させる工法です。当社では無機系、有機系表面被覆工法を構造物の劣化状況や設置環境に応じて最適な工法を選定致します。

無機系表面被覆工法 (レックス工法)

レックス工法は、無機質系材料をベースに用いた耐候性に優れた表面保護塗装材で、高弾性のため伸び能力に優れ、安全で環境に優しい材料です。

レックス5100



■**特長** 優れた防水性、遮塩性および中性化抑止性を有する無機質系高弾性被覆材で、コンクリートに有害な外部からの雨水や炭酸ガス、塩化物イオンの浸入を防ぐ効果を発揮。



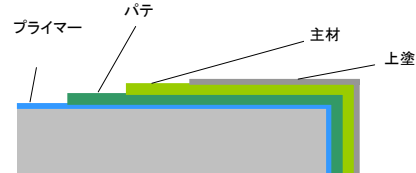
用途

- ・コンクリート構造物の一般的なひび割れ補修
- ・コンクリート構造物の炭酸化、中性化抑制
- ・鉄筋コンクリート構造物の塩害による劣化抑制
- ・コンクリート構造物のASRの抑制(2000N)

有機系表面被覆工法

有機系被覆工法には、様々な樹脂材料(例えばエポキシ、ポリウレタン)が用いられ、その種類によって性能や効果が異なります。

塗布工法



■**特長** 形成される被膜が緻密なため、優れた防水性、遮塩性および中性化抑止性を有する。また、耐薬品性が高く下水道施設などでライニングに使用する場合もある。



用途

- ・コンクリート構造物の一般的なひび割れ補修
- ・コンクリート構造物の炭酸化、中性化抑制
- ・鉄筋コンクリート構造物の塩害による劣化抑制
- ・コンクリート構造物の化学的侵食の抑制

施工フロー



施工例

